

1. この試験について

★この試験は、次のような流れで進みます。

1. 課題となる資料（書籍、動画、講義等を検討しています）を参照し、まとめます。
2. 疑問に思ったり、もっと考えたいと思ったことを探究したいテーマとして書き出します。
3. 探究したいテーマについて、「問い」を立て、どのようにしたら深めることができるかを考えていきます。
4. 「問い」に答えようとすることで、世界や他者に対してどのような意味を持つか、考えます。

★この試験は、次のことを目的にしています。

みなさんが今まで当たり前だと思っていたことについて、それが本当に当たり前なのか、あらためて一人でじっくりと考えてほしい！

興味のあることや疑問に思ったことについて、どのようにしたらもっと深められるのか、そのためには何が必要なのか、自分で考えてほしい！

考えたことを、他者にわかるように言葉にして伝えてほしい！

この試験には、間違った解答や1つだけの正解があるわけではありません。先生方でも気づかない考えを思いつくかもしれません。もしかしたらみなさんの考えたことが、世界を変える原動力となるかもしれません。

間違っても構いません。途中で考えが変わってもいいです。あきらめず、最後まで自分で考えてください。そして、どのようにまとめ、何を伝えたいと思うのか。またどんな未来を創造したいのか。あなたの考えに、かえつの先生方がどれだけワクワクできるかが試されています。

2. 課題となる資料を参照します

○主張を読んでまとめてみましょう。**※見たい力…テキストの正確な読み取りと、テキストを読んで自らの知的好奇心（探究に向かう）を喚起できるような姿勢**

3. 課題となる資料を参照し、自分が興味をもったもの、もっと深く知りたいことをたくさん挙げてみよう

-
-
-
-
-
-

4. 課題となる資料を参照し、あなたが探究したいテーマは何か、またなぜ興味を抱いたのか書いてみよう。あなたが過去に経験したことや見たこと等が探究の出発点になっているかもしれません。あえて理由を書いてみましょう。

探究したいテーマ

理 由

5. 探究するための「問い」を作ってみよう。

1. あなたが気になったことを書いてみましょう

2. 気になったことに対して、下の表にある**太字**の言葉を使って質問を投げかけてみましょう。自分一人であれこれ対話をしてみます。

3. いろいろな問いかけをヒントにして、探究のための「問い」をつくりましょう。これからじっくり考えたら面白そうなもの、今まで考えたことがなかったけれどこんなこと考えてみたら新しい何かが分かりそうだなと思うものをつくってください。たくさん当てはめてみて、見つけましょう。

※その中で、誰かがすでに答えを知っているもの、つまりインターネットや図書館で検索したらすぐに答えが分かるものはなるべくさげましょう

使う言葉（ 太字 に注意して使おう）	例「友達にうそをついてはいけないのか」	あなたの使用らん
〇〇の意味はなに？ 〇〇とXXのちがいはなに？	友達につくうそと、先生につくうそのちがいはなに？	
〇〇はなぜ？	なぜ うそをついてはいけないと思うの？	
〇〇ってそもそも…？	そもそも うそっていけないものなの？	
もし〇〇が、XXなら？	もし友達が、うそをついてほしいと頼んできたら？	
…って本当？それはどうやって確かめられる？	友達は、わたしがうそをついていると 本当 に知ることができる？	
例はある？	友達にうそをつかないほうが いい と分かる 例 はある？	
例外はある？ 〇〇じゃない 場合 はある？	友達にうそをつかないのが 正しくない場合 はある？	
…べき？…べきではない？	うそは つくべき でない？	

あわせ技もできます：もし私がうそをついていることを、相手が**本当**に知ることができないなら、それでもうそをつく**べき**でないと言える？

6. 現時点での問いを書いてみよう

現時点での問い

7. 探究を進めるにあたって、課題になるかもしれない、今まだ十分に分かっていないことを書いてみよう。

-
-
-
-

8. 決めた「問い」を探究するために具体的な手段や方法を書き出してみよう。

例・チェックしてみよう

	本
	新聞
	雑誌
	百科事典
	地図
	年鑑・統計
	インターネット
	データベース
	アンケートをとる
	博物館・美術館に行く
	インタビューをする
	写真をとる

9. 自分の探究から明らかになることで、あなたにとって、または世界にとって、どんな価値があると考えますか。どんな人に対して、自分の探究を伝えたいと思いますか。

あなたの探究の価値

どんな人に探究を伝えたいか